

# 令和6年度三重県沿岸種資源評価

## マダコ

### 資源水準・動向

低位・減少



### 生物情報

- ・日本におけるマダコの分布の北限は津軽海峡域とされる。
- ・県内では鳥羽地先～熊野灘の砂礫底や岩盤に多く生息する。
- ・マダコの産卵期は春と秋の2回あり、メスは10～15万個の卵を産む。
- ・寿命は1～1.5年とされる。

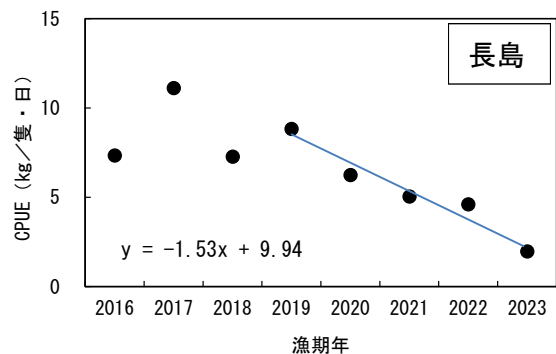
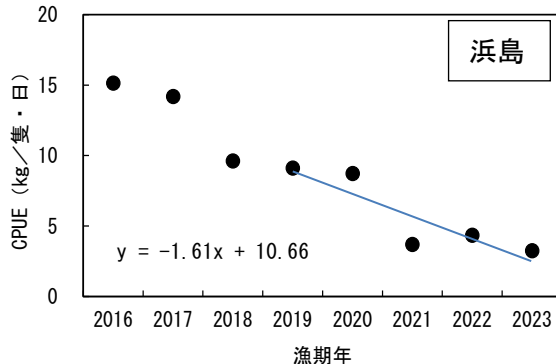
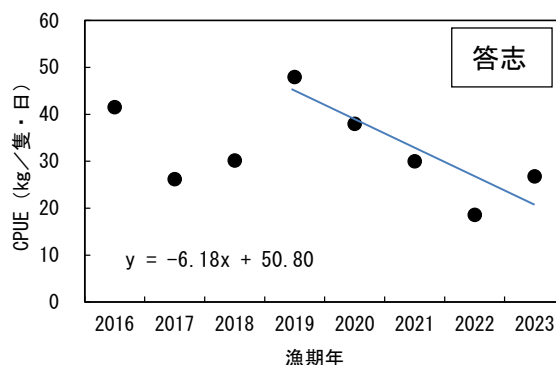
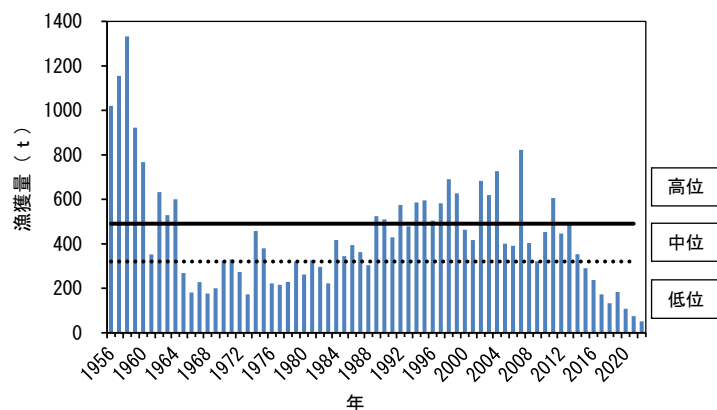
### 漁業の特徴

- ・鳥羽市で漁獲量が多く、次いで南伊勢町、志摩市、紀北町が多い。
- ・漁獲盛期は夏季。
- ・タコつぼ漁業、タコかご漁業、底びき網漁業等で漁獲される。



### 資源状態

- ・三重県における漁獲量から、資源水準は「低位」とした。
- ・鳥羽市答志地区、志摩市浜島地区及び紀北町長島地区におけるCPUEから、動向は「減少」とした。



### 資源管理の取組

- ・漁業者の自主的な取り組みとして、使用するタコつぼやタコかごの漁具数の制限が行われている。
- ・答志地区では400g未満のマダコは放流されている。

### 将来考えられる資源管理の取組

- ・漁具数の制限や漁獲できる最小体重の設定等を広く行うことにより、産卵可能な雌ダコの資源を増加させる取り組みが考えられる。